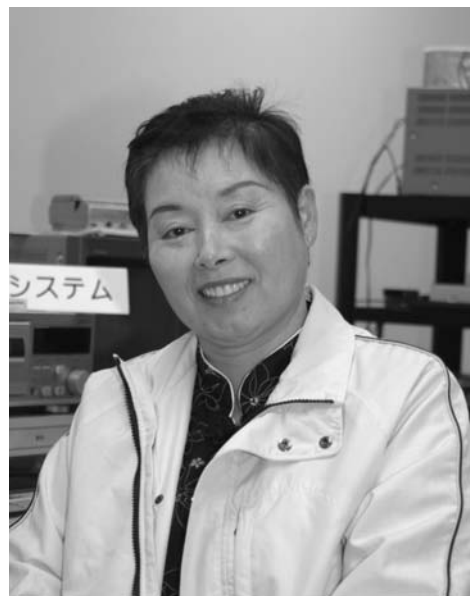


クローズアップ ②

「声の広報」の魅力を声で伝える 「声の広報」ボランティア



迫町ぼらんていあ友の会
田口 浩子さん (57歳)
迫町・上沢

皆さん「声の広報」をご存知ですか。「声の広報」とは、目の不自由な方や希望者に無料で配布するため、広報とめの記事内容を朗読し、CDとカセットテープに録音したものです。「声の広報」を作っているのは、声の広報ボランティアの皆さんで、そのリーダーとして活躍しているのが田口浩子さんです。

「30年程前に交通事故で体が不自由になり、今まで多くの方々に助けを受けてきました。いつも助けを受ける側のわたしにできることを考えたとき、声を使ったボランティアをやろうと思い、軽い気持ちで始めました」と田口さんは「声の広報」を作ったきっかけを語ってくれました。この活動は、7年前から続いています。

声の広報作成の流れは、広報紙発行日にボランティアメンバーが集まり、担当パートを決め、声の録音作業に入ります。録音作業終了後、80分にまとめる編集作業を行い、最後に記事や季節に合うバックミュージックを入れ、毎月15日ころには完成します。メンバーは現在15人（読み手、ダビング、郵送）で、作業は市の視聴覚センターで行っています。

「今まで声の広報を作ってきて、広報紙にはためになる情報や新しい発見がたくさんあると感じました。今後は、目が不自由な方以外にも声の広報を聞いてもらい、少しでも多くの市民に広報紙が読まればうれしいです。作業は大変ですが、毎月楽しみに待っている方がいるので、これからもメンバーみんなで続けていきたい」と今後の抱負を話す表情には、広報紙に対する愛情を感じ取れました。

「声の広報」のボランティアに興味のある方は、迫町ボランティアセンターまでご連絡ください。
☎0220(22) 2144

文芸コーナー

短歌

九万の 登米市帆を揚げ威勢良く
輝やく笑顔 強く漕ぎ出す
吉田 まさよ(迫)

萌えいずる 山に心をうばわれる
年老いて知る 故郷の山
佐々木みよ子(中田)

昇る日は 沼を満たして輝けり
登米市誕生を 迎えし朝
佐々木せい子(迫)

湯も水も 溢るるばかり満ち足らふ
現世の幸を 神に感謝す
菊地 ヤイ(中田)

新らしき 市のスタートに純白の
春雪のペールに 朝煌きて
丸山 米子(東和)

野辺に咲く 菜の花摘みて したしにし
春の香りに 舌包みしす
亀掛川洋子(東和)

北帰行 終りし池に 鳶三羽
日毎飛び来て 餌を漁る
千葉 秀雄(南方)

高館にて 貞任の鞍に 出合いたり
心さわぎて 北上の川を見る
佐藤 美穂子(石越)

俳句

風薫る 市の身となりて 衿正す
千葉かつ子(中田)

産に 新市誕生し 虹の橋
高橋 一男(中田)



代表 鈴木 隆彦^{たかひこ}さん
 (登米町・三日町)
 連絡先 090 (7791) 8920

サークル紹介 ②

登米気功倶楽部

「8年前に、北京中医薬大学日本分校で気功を学び、自分が学んだことを人に教えてみたい」と思い、6年前から教室を開きました」と語る鈴木さん。気功倶楽部は、毎週金曜日の午後7時30分から午後9時まで、登米総合体育館「蔵ジウム」で活動しています。現在会員は8名ですが、迫町や中田町など各地区での活動も行っています。

気功は、中国の伝統的な健康体操で、ゆったりとした呼吸とゆるやかな動作が特徴です。高齢者の方でも無理なくでき、腹式呼吸を使うことなどから、体全体が引き締まるなど、ダイエット効果も期待されています。女性の愛好者も年々増えており、場所を選



気功はダイエット効果も期待されています

ばず、誰でも、どこでもできる体操です。

「機会があれば、これからの未来を担う子どもたちにも気功を教えていきたい。気功を通じて子どもたちの心にとりを与えられたら」と今後の夢を語ってくれました。4月から9月には月1回、「早起気功」を行っています。気功体験や各地区での出前講座も行います。

コミュニケーションを図りながら、運動不足を解消したい方、年齢を問わずどなたでも参加できます。鈴木さんまでお気軽にご相談ください。

蒲公英を 乱れ花火に踏みしだく 鈴木 巖優(登米)

雨降りて 六月恋の 花を見る 畠山 保治(東和)

花見の子 帰りし後の 疲れかな 春日 悦子(東和)

昔日や 父母耕やせし 山の畑 二木ゆき子(東和)

耕人の 二字彫り深く 開拓碑 及川 寛志(東和)

乳母車 押す曾祖母や かたかがり 佐々木 振作(南方)

田植え終え かつこうの声高らかに 佐々木ちよ子(南方)

日かげりや 杖づく姿 いじらしき 伊藤 鉄郎(南方)

水無月の老いの集まり はなやかに 佐々木艶子(南方)

こうこうと 水の流れる花しようぶ 佐々木キヨ子(南方)

寒椿の川面にうつる 狢鼻溪 高橋 福(南方)

寒椿 一輪散りて かなしけれ 伊藤 千好(南方)

※応募者多数のため抽選で掲載しました。ご了承ください。

●●文芸作品募集●●

俳句、短歌、川柳いずれか1カ月1作品。締め切りは毎月10日。住所、氏名、電話番号を記入して応募ください(作品には必ず読みがなを付けてください)。応募者多数の場合は抽選での掲載になります。

【あて先】〒987-0511
 登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1
 登米市総務部総務課広報係
 TEL 0220 (22) 2090
 FAX 0220 (22) 9164
 E-mail koho@city.tome.miyagi.jp